

第8回 防災委員会

防災コーナー展示（文化展）

〔1〕目的

過去の災害から、その対策について考え、また身近な文化財に親しみを持つと共に、その防災について考えてきた防災委員会の取り組みをまとめて展示し、生徒や教員、保護者、地域住民の防災についての意識を高める。

〔2〕発表方法

それぞれの班で観点（棚やガラスの損傷、パネルの固定等）を一つ決める。ガンピ等の紙上発表だけでなく、実験や模型等も作る。

〔3〕役割分担

（1）防災委員会について

巖浄閣の歴史と過去の災害について

液状化実験

施設面での備え1（窓ガラス、家具、パソコン等の固定）と自室の見直し

施設面での備え2（巖浄閣の防災）

クロスロードにより防災を考える

防災ポスター作成

「五箇山合掌集落」の防災から学ぶ（1泊2日）

防災新聞作り（文化展）

心肺蘇生法を学ぶ

（2）学校行事について

避難訓練

- ・震度6の状況説明
- ・地震の揺れの長さ100秒体験
- ・防火扉を閉めて、そのドアからの避難体験（押さない、走らない、しゃべらない、戻らない）

体育大会での競技＝バケツリレー

- ・運動委員会が中心となって案作成
- ・水槽は7回で満タンになるので3杯はじめておく。

〔4〕注意点

- （1）文化財のためガンピ等は貼るところが制限されるので、掲示の仕方を工夫する。
- （2）文化展で都合がつかない者は、代役を見つけて先生まで連絡に来る。
- （3）巖浄閣の学習室で行うので人集めの方法を考えておく。